

想い出の名バイプレーヤー 6 Daring Heart

デアリングハート



2002年3月9日生 牝 栃栗毛
父:サンデーサイレンス
母:デアリングダンジグ(母の父:Danzig)
千歳・社台ファーム生産
調教師:藤原英昭(栗東) 馬主:(有)社台レースホース

夢に挑んだ 小さなヒロイン



馬体重は420kgそこそこしかなく、出走馬中もとても軽いというケースも少なくなかった。パワー勝負では分が悪く、馬場が濡ると苦戦を強いられた。母の父に快速血統として知られるダンジグを持つせいか距離が伸びると安定さを欠く面もあった。それでもデアリングハートは、スッと先行で器用さと、そこから直線でさらに伸びるスピード能力の高さによって重賞3勝をマークした。

2006年、4歳夏のクイーンステークスでは早め先頭の積極策から1歳上のGIウイナー・ヤマニンシュクルを完封、2歳10月以来となる勝利を重賞初制覇で飾った。勢いに乗って府中牝馬ステークスへ臨み、サンレイジャスパー、ディアデラノビアとの追い比べをしのぎ切って重賞を連勝。翌2007年には府中牝馬ステークスを連覇する。粘るアサヒライジングを好位から追撃し、交わし去り、さらに1馬身3/4突き放す堂々の勝利だった。

けれどデアリングハートは、GIの頂には届かなかった。

最初のチャンスは阪神ジュベナイルフィリーズ。11番人気で5着に食い込んだことは、惜敗というより善戦といえただろう。桜花賞でも10番人気の低評価を覆して3着。ラインクラフトとシーザリオ、人気を集めた両馬の勝負に敢然と割って入り、アタマ、クビ差という結果を残す。敗れたとはいえ、残り250mあたりで先頭に立ち、そこから最後まで競り合った姿、3番人気エアメサイアに先着した事実は、将来に大きな夢を抱かせるものだった。

続くNHKマイルカップでも、夢の実現はそう遠くないと思わせた。ここも10番人気、いまだ1勝馬の身とあって相変わらず重い印は打たれなかったが、そんな見かたが誤りであることを示す。ラインクラフトをピタリとマークし、直線では内ラチ沿いを抜け出したライバルに迫りすぎる。結局は捉まえられなかったものの、アイルラヴァゲインやパールギェントら後続の追撃を振り切って2着を確保。桜花賞で見た走りが決して偶然ではなかったとアピールしたのである。

だが、その後もGIでは勝利に恵まれなかった。馬場に手こずり、距離に泣き、ダイワメジャーやダイワスカーレットといった分厚い壁に弾き返された。2007年のヴィクトリアマイルでは僅差3着、牡馬との力比べに挑んだ2008年のフェブラリーステークスでは直線半ばで先頭に立ったもののヴァーミリアンの7着と、見せ場を作りながらも栄冠を手にはできなかった。

それでもデアリングハートの、小柄な馬体を目一杯に使ったフットワークに、心を動かされたファンは多かったはずだ。

2007年★第55回府中牝馬S(GIII) 4番手追走から直線で鮮やかに抜け出したデアリングハートが後続を寄せ付けず快勝。前年に続く連覇を達成した。

年月日	場	レース名	距離	着順	タイム	騎手
2004.10.9	京都	2歳新馬	芝1400	2	1:24.8	武幸四郎
10.30	京都	2歳未勝利	芝1600	1	1:35.3	武幸四郎
12.5	阪神	阪神ジュベナイルフィリーズ(GI)	芝1600	5	1:35.5	武幸四郎
2005.1.16	京都	紅梅S	芝1400	3	1:24.4	武幸四郎
2.5	京都	エルフィンS	芝1600	6	1:36.5	武幸四郎
3.13	阪神	報知杯フィリーズレビュー(GII)	芝1400	2	1:21.2	武幸四郎
4.10	阪神	桜花賞(GI)	芝1600	3	1:33.6	M.デムロ
5.8	東京	NHKマイルカップ(GI)	芝1600	2	1:33.9	後藤浩輝
8.14	札幌	北海道新聞杯クイーンS(GIII)	芝1800	4	1:47.2	後藤浩輝
10.16	京都	秋華賞(GI)	芝2000	12	2:01.1	後藤浩輝
10.29	京都	毎日放送賞スワンS(GII)	芝1400	15	1:22.8	松永幹夫
2006.4.8	阪神	サンケイスポーツ杯阪神牝馬S(GII)	芝1400	12	1:23.3	M.デムロ
5.14	東京	ヴィクトリアマイル(GI)	芝1600	6	1:34.6	藤田伸二
6.11	東京	エプソムC(GIII)	芝1800	4	1:49.5	藤田伸二
8.13	札幌	北海道新聞杯クイーンS(GIII)	芝1800	1	1:46.7	藤田伸二
10.15	東京	府中牝馬S(GIII)	芝1800	1	1:47.5	後藤浩輝
11.19	京都	マイルチャンピオンシップ(GI)	芝1600	13	1:33.9	藤田伸二
2007.4.1	中山	ダービー卿チャレンジT(GIII)	芝1600	6	1:33.7	藤田伸二
5.13	東京	ヴィクトリアマイル(JpnI)	芝1600	3	1:32.6	藤田伸二
6.10	東京	エプソムC(GIII)	芝1800	9	1:49.2	藤田伸二
8.12	札幌	北海道新聞杯クイーンS(JpnIII)	芝1800	7	1:47.2	藤田伸二
10.14	東京	府中牝馬S(GIII)	芝1800	1	1:45.4	藤田伸二
11.11	京都	エリザベス女王杯(GI)	芝2200	12	2:13.0	藤田伸二
12.5	船橋	クイーン賞(JpnIII)	ダ1800	3	1:52.5	藤田伸二
2008.1.16	大井	TCK女王盃(JpnIII)	ダ1800	2	1:54.3	藤田伸二
2.24	東京	フェブラリーステークス(GI)	ダ1600	7	1:36.5	藤田伸二

※レース名は当時の表記による

2005年★第10回NHKマイルカップ(GI) 10番人気の低評価を覆す好走を見せたデアリングハート(帽色・橙)だったが、桜花賞馬ラインクラフト(帽色・緑)を捉えることはできず2着。

